



---

**Re: 夏山登山の件**

---

差出人 hayashi-kz@sophia-ip.jp <hayashi-kz@sophia-ip.jp>

日付 2026-02-18 (水) 12:42

宛先 PA会アウトドア同好会 <fujiattack@gmail.com>

PA会 アウトドア同好会 幹事殿

林和夫です。

＊「PA会のアウトドア同好会の行事は、親睦を第一に考えておりました」について  
親睦は安全が確保されていることが前提です。安全が確保されていない状態では、そもそも親睦は成り立ちません。

単に親睦を目的とするのであれば、高尾山(599m)で十分です。最寄りの高尾山口駅にはスーパー銭湯(極楽湯)が直結しています。

＊「アウトドア同好会では、イベントについてはデータなど客観的な情報に基づいて検討を行っております。」について

8月下旬に北アルプス五色ヶ原に登山することにした具体的なデータをお示してください。

＊「8月下旬に五色ヶ原の山小屋が空いているのは、誰も登る人がいないからです。」について

・Geminiに「北アルプス五色ヶ原山荘の8月で比較的空いている時期」と入力したところ、「**ベストタイミング：8月20日以降の平日** 例年、お盆休み（8月10日～18日前後）が終わると、夏休みのピークが一段落します。この時期の平日は、8月の中で最もゆとりを持って過ごせる可能性が高いです。」と回答がでました。

ChatGPTでも同様の結果です。

五色ヶ原山荘の予約受付が始まる4月1日に予約すれば、問題なく予約可能と思われます。

・Geminiに「北アルプス五色ヶ原山荘の7月・8月で最も混雑する時期」と入力したところ、「**7月下旬：チングルマの開花ピーク** 五色ヶ原は日本屈指のお花畑として知られており、特に**7月20日頃から7月末にかけて**はチングルマなどの高山植物が最も美しく咲き誇るため、平日・週末を問わず非常に人気が高まります。」と回答がでました。

五色ヶ原山荘の予約受付が始まる4月1日に予約しようとしても、タイミングによっては予約できない可能性があります。

＊「雨よりも怖いのは雷です。」について

・気象庁のWebサイト(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/thunder1-3.html>)によれば、「対地放電（青色）、雲放電（桃色）ともに、放電数は8月が最も多くなっており、」「対地放電と雲放電の割合（黄色）を見ると、冬は対地放電と雲放電の比率はほぼ同じで、1：1程度ですが、夏は対地放電1に対して雲放電が5程度と雲放電の割合が大きくなっています。」と記載されています。

7月も8月に次いで放電数が多いですが、これは梅雨末期の大気が不安定な時期に発生するものと解されます。梅雨明け直後は梅雨明け10日と言って、大気の状態が安定します。

＊「高山では、雷が横から飛んできます。」について

雲放電とは、雲の中や雲と雲の間などで発生する放電です。このため、高山で周囲にガスがかかっている状態、すなわち雲の中を歩いている状態では、雲放電による被雷の可能性が高くなります。雲の中の放電なので、どの方向から飛んできてくるかわかりません。地上における対地放電と混同しないでください。

・上記気象庁のWebサイト(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/thunder1-3.html>)によれば、「雷は夏・冬を問わず発生しますが、夏（6～8月）は、関東や中部、近畿地方を中心とした広い範囲で多数の検知結果がみられ、年間の総検知数の大部分を占めます。」と記載されています。

・登山者のブログ(<https://journey-pots.tokyo/tozanyowa19/>)にも、「わたしは、夏山縦走の五色ヶ原で暴風雨、雷雨の恐怖のただ中にいました。雷は大音響で地面を揺すぶり、テントのごく近辺にいくつも落ちました。」との記載があります。

8月下旬に五色ヶ原周辺が他の山域に比べて特に雷が少ないというデータをお示しく下さい。

＊下記LINEの投稿には、「8月下旬は天候が不安定で、数か月前から大人数での山行計画はリスクが大きすぎます。8月下旬の登山は、少人数で天気予報を見ながら直前に計画を立てて実行するのみです。」と記載されています。これは、山岳気象の基礎知識のある人であれば常識です。登山をするうえで山岳気象の知識は必須です。

アウトドア活動をする際、リーダーは参加者の命を預かっているという自覚が必要です。現在のアウトドア同好会の幹事は、アウトドアに対する知識やスキルが無いだけでなく、責任感もありません。現在のアウトドア同好会の幹事は、アウトドア活動に対する知識・スキル・責任感の無い3無主義者の集まりです。

無謀な山行計画を立て、事故が起きた場合、誰がどのように責任を取るのでしょうか？昨年10月の天狗岳登山では道を間違えた人がいましたが、これは道を間違えた人の責任ではなく、リーダーの責任です。

今後、アウトドアのイベントで参加者を募集する場合、事故が起きた場合の責任者名を明示していただくようお願いいたします。

## ΣΟΦΙΑ

ソフィア国際特許事務所

弁理士 林和夫

E-mail : [hayashi-kz@sophia-ip.jp](mailto:hayashi-kz@sophia-ip.jp)

URL : <https://sophia-ip.jp>

---

**差出人:** PA会アウトドア同好会 <fujiattack@gmail.com>

**送信:** 2026年2月7日(土曜日) 10:30

**宛先:** hayashi-kz@sophia-ip.jp <hayashi-kz@sophia-ip.jp>

**件名:** Re: 夏山登山の件

林和夫先生

お知らせ下さりありがとうございます。

PA会のアウトドア同好会の行事は、親睦を第一に考えておりました、必ずしもその地域で最良のシーズンには行かないこともあります。

林先生はLINEで下記のようなコメントを流しておられます。アウトドア同好会では、イベントについてはデータなど客観的な情報に基づいて検討を行っております。LINEに流されたコメントをフォローしているのですが、コメントに対応する客観的でありかつ公開されている情報が見つかりません。そこで、いただいたコメントに対応するデータなど客観的でありかつ公開された情報をお知らせくださるようお願いいたします。特に次の内容についてはまずはデータや情報など客観的でありかつ公開されたものを提供下さるようお願いいたします。

\*「8月下旬に五色ヶ原の山小屋が空いているのは、誰も登る人がいないからです。」

・まったく登る人がいないということではないのではないかと思います。8月下旬は誰も登る人がいないというのは小屋の宿泊者がどの程度になってしまうのでしょうか。

\*「雨よりも怖いのは雷です。」

山では一般的に雷に対する注意が必要かと思えます。

・特に五色ヶ原で8月下旬に雷がほかの山域に比べて雷が怖いというデータをご提示下さるようお願いいたします。

・また五色ヶ原における過去の雷事故例又は事故になりかけた例がどの程度あるものかデータとともにお知らせくださるようお願いいたします。

\*高山では、雷が横から飛んできます。

多くの場合に横からくる雷は尾根筋、ピーク、岩壁や岩稜帯では特に注意が必要かと思えます。

・特に五色ヶ原では、横から飛んできた雷に注意する必要があるという客観的なデータや資料をお知らせ下さるようお願いいたします。こちらで探した範囲ではそのようなデータ類が見当たらないのです。

データ類は急いではありませんが、3月ごろまでに提供下さるようお願いいたします。

なお、三浦半島ハイキングの懇親会の際に夏山登山の時期及び行先について再検討するための話し合いは予定していません。

## 記

・林先生コメント1

林和夫です。

五色ヶ原は、高山植物の宝庫で、見頃は7月下旬です。

夏山で天候が安定するのは、7月下旬の梅雨明けです。

梅雨明け10日という言葉があり、梅雨明け後10日ぐらいが最も天候が安定します。

8月下旬になると台風が発生しやすくなり、天候が不安定になります。

どの様な経緯で北アルプス五色ヶ原を8月下旬にしたのか不明ですが、山の常識のある人ならば考えられません。

・林先生コメント2

林和夫です。

8月下旬は天候が不安定で、数か月前から大人数での山行計画はリスクが大きすぎます。

8月下旬の登山は、少人数で天気予報を見ながら直前に計画を立てて実行するのみです。

私も以前、8月後半に富士山登山をしたときは、1人で2～3日前に天気予報を見て空いている山小屋を予約して上りました。

8月下旬に五色ヶ原の山小屋が空いているのは、誰も登る人がいないからです。

無理に上ったとしても、高山植物の見頃は過ぎており、「こんなもんか。」となります。

台風が直撃すればキャンセル料は取られませんが、微妙なケースもあります。

初日はなんとかなっても、2日目は雨の中を歩くのみとなる場合もあります。

雨よりも怖いのは雷です。

高山では、雷が横から飛んできます。

どうぞよろしくお願いいたします。

アウトドア同好会幹事一同

2026年2月4日(水) 10:06 PA会アウトドア同好会 <[fujjattack@gmail.com](mailto:fujjattack@gmail.com)>:

林和夫先生

お知らせを受信しました。  
改めて、連絡を差し上げるように致します。

P A 会アウトドア同好会 幹事

2026年2月3日(火) 15:50 [hayashi-kz@sophia-ip.jp](mailto:hayashi-kz@sophia-ip.jp) <[hayashi-kz@sophia-ip.jp](mailto:hayashi-kz@sophia-ip.jp)>:

PA会 アウトドア同好会 幹事殿

林和夫です。

LINEでもお伝えしましたが、8月下旬の北アルプス登山はリスクが大きすぎます。  
予定通り実施したとしても、LINEの参加者は穂坂先生と私のやり取りを見ているので、  
雷に打たれて死にたくないとの思いから参加者は少ないと思われます。

そこで、三浦半島ハイキングの懇親会の際、夏山登山の時期及び行先について再検討する  
ため、話合いたいと思います。

夏山登山は、7月下旬の梅雨明け直後一択です。

その時期に実施できないのであれば、今年の夏山登山はなしです。

その時期に都合の悪い幹事がいるのであれば、その人に担当から外れてもらえばよい  
だけです。

以上、よろしくお願いいたします。

**ΣΟΦΙΑ**

ソフィア国際特許事務所

弁理士 林 和夫

E-mail : [hayashi-kz@sophia-ip.jp](mailto:hayashi-kz@sophia-ip.jp)

URL : <https://sophia-ip.jp>